

## 追悼 黒川俊雄先生、 長い間ほんとうにありがとうございました。

永戸 祐三(日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 理事長、協同総研常任理事)



協同総研初代理事長であり、慶應義塾大学名誉教授であられた黒川俊雄さんが3月19日ご逝去されました。ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(編集部)

お別れの時がとうとうきてしまった。奥さまを先に亡くされからはきっと淋しさのつきまとう生活だったろうと察します。

黒川先生には私たちの運動の初期からご指導、援助をいただきました。心からお礼申し上げます。

当初、私たちの運動にかかわっていただいたがために、様々な人々から誹謗中傷めいたものを含めて批判が上がりました。

それでも先生は自分の節を曲げずていねいに自分の意見、見解を述べられていました。

また、初代の協同総合研究所の理事長も引き受けていただき、その後の研究所の発展に道筋をつけていただきました。

先生とはじめてお会いしてからの数年は、本部や慶応大学周辺でのお酒の席での議論が思い出されます。私が今までお付き合いをした学者や先生方のなかでお酒の最も強い先生だったと思います。

また先生は晩年まで「電車では絶対にすわらない」をモットーにされていました。こうして思い返してみると思い出となって

いることがたくさんあるものだと感慨をもちます。

菅野君(菅野正純さん：元協同総研理事長、元労協連理事長)がまだ若いのに先にあちらに行っています。最初の協同総研のコンビとしてまた議論もいっぱいやってください。

死の現実による別れはもう会えないことを意味するのだし、だからいつだって淋しいもの、悲しいものなのですが、先生からいただいたたくさんのことを胸に、託されたことを引き受けしっかりと頑張っていきます。ほんとうにありがとうございました。

合掌



1999年11月10日、「いま『協同』を問う11月集会」で実行委員長挨拶をする黒川氏。